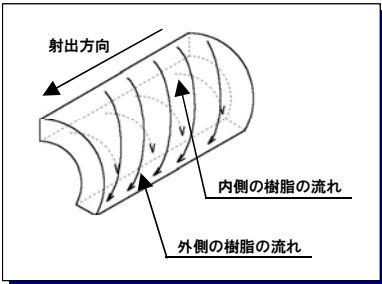




樹脂流動制御成形技術



樹脂流動制御成形技術は株式会社メイホーと、九州工業大学の共同で開発した画期的な成形技術です。

射出成形時に金型内のコアを回転させることにより使用する樹脂の分子鎖や添加物であるガラス繊維を円周方向に配列させます。

これにより、寸法精度の向上、物性強度の向上などの効果を発揮します。

強度UP



配向制御なし 配向制御あり
LCP I型



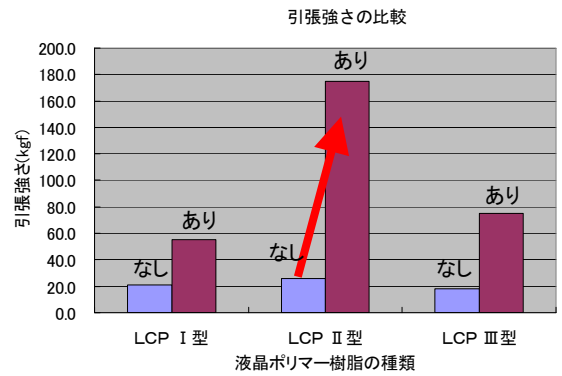
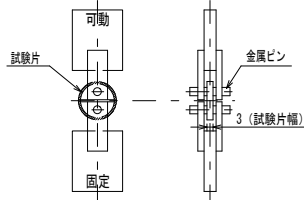
配向制御なし 配向制御あり
LCP II型



配向制御なし 配向制御あり
LCP III型

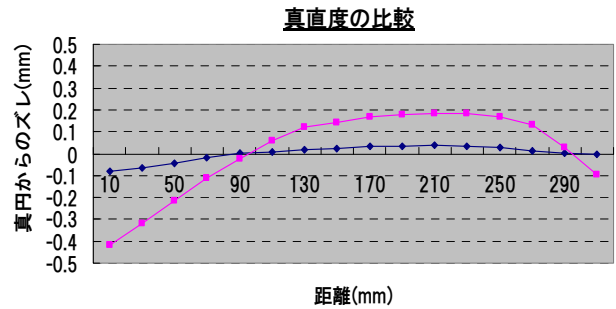
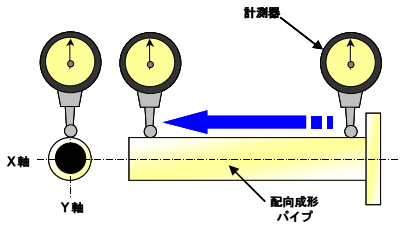
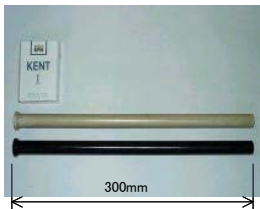
引張試験後の試験片

筒状の成形品を輪切りにして引張試験を行いました。



精度UP

300mmの長尺成形品を製作して、倒れを測定しました。



機能性

破壊に対する特性が変化し、衝撃に対する吸収性が確認されています。

